

香川大学で雇用する特別研究員-PD等の育成方針

国立大学法人香川大学は、研究に関する目標として、「多様な価値観の融合から発想される創造的・革新的基礎研究の上に、特色ある研究を開花させ、社会の諸課題の解決に向けた応用的研究を展開する。」ことを掲げている。その目標の達成に向け、若手研究者の育成は不可欠である。そこで、独立行政法人日本学術振興会が実施する「研究環境向上のための若手研究者雇用支援事業」を導入し、特別研究員-PD、RPD、CPD（以下「PD等」という。）の研究環境の確保・充実、能力開発支援等の推進に向け、以下の取組を実施する。

<研究環境の確保・充実>

受入研究者による適切な指導を提供するとともに、研究の遂行に必要な施設・設備の利用を可能とする。

<研究支援>

研究支援について、以下の取組を実施し、PD等の研究業績の向上を支援する。

- 競争的研究費、民間財団等の研究助成金に係る情報提供
- 科研費等の外部資金獲得に向けた支援（申請書のブラッシュアップ等）
- 本学が実施する研究に係るFDの受講機会の提供
- 研究倫理教育プログラム受講機会の提供

<ダイバーシティの推進>

本学の「D&I推進の基本方針」に基づき、「すべての構成員を支援する全学体制の整備」や「共生社会の実現に向けて地域と連携した持続可能な大学経営の推進」等の取組を行い、PD等を含めた女性研究者の活躍を推進する。